平成27年度 十勝農試 定期作況報告 小豆

	<i>II</i> − 1□	事由
6月20日	作況 平年並	番田 播種期は平年より2日遅い5月26日であった。播種後6月2日までまとまった降雨がなく、出芽はややばらついたが、概ね順調であった。主茎長は平年をやや下回ったが、本葉数は平年並であった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	やや不良	6月下旬は低温寡照に経過し、期間を通して降水量が著しく少なく干ばつ傾向となり、主茎長、分枝数は平年を下回り、本葉数は平年をやや下回った。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	やや不良	開花期は平年より2日遅かった。7月下旬は高温に経過し、主茎長及び本葉数は平年並で、 分枝数は平年並からやや多かった。着莢数は平年を下回った。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	平年並	8月中旬以降やや低温に経過したことから登熟期間は平年に比べ長くなり、成熟期は遅れている。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数及び分枝数は平年を上回った。着莢数は「きたろまん」及び「エリモショウズ」で平年より多く、「アカネダイナゴン」で少なかった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
10月20日	良	成熟期は平年より6~9日遅かった。「きたろまん」及び「エリモショウズ」は、百粒重は平年並であったが、着莢数及び一莢内粒数が平年を上回ったことから、子実重の平年比はそれぞれ120%及び122%であった。「アカネダイナゴン」は、着莢数が平年より少なかったものの、一莢内粒数及び百粒重が平年を上回ったことから、子実重の平年比は118%であった。 屑粒率は平年より低かった。 以上のことから、現在の作況は良である。
11月20日	良	播種は平年より2日遅く、出芽は概ね順調であった。6月中旬から7月上旬まで降水量が著しく少なく干ぱつ傾向になり、また、6月下旬が低温寡照に経過したことから、初期生育は停滞した。7月中旬以降高温に経過し、除雨もあったことから生育は回復した。開花始は平年より2日遅かった。8月中旬以降やや低温に経過したことから登熟期間は平年に比べ長くなり、成熟期は平年より6~9日遅かった。「きたろまん」及び「エリモショウズ」では、百粒重は平年並であったが、着莢数及び一莢内粒数が平年を上回ったことから、子実重の平年比はそれぞれ120%及び122%であった。「アカネダイナゴン」は、着莢数が平年より少なかったものの、一莢内粒数及び百粒重が平年を上回ったことから、子実重の平年比は118%であった。屑粒率は平年より低く、検査等級は平年を上回った。以上のことから、本年の作況は良である。

生育データ

品種名		きたろまん			エリモショウズ			アカネダイナゴン		
項目/年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月日)		5.26	5.24	2	5.26	5.24	2	5.26	5.24	2
出芽期(月日)		6.10	6.7	3	6.8	6.7	1	6.11	6.8	3
開花始(月日)		7.24	7.22	2	7.24	7.22	2	7.25	7.23	2
成熟期(月日)		9.21	9.12	9	9.21	9.15	6	9.29	9.21	8
主茎長 (cm)	6月20日	3.7	4.4	△ 0.7	3.7	5.0	Δ 1.3	3.9	5.1	Δ 1.2
	7月20日	15.1	24.7	△ 9.6	16.1	26.1	Δ 10.0	14.4	23.6	△ 9.2
	8月20日	72.4	73.6	△ 1.2	71.7	76.2	△ 4.5	79.3	84.4	△ 5.1
	9月20日	77.9	80.1	△ 2.2	76.7	81.5	△ 4.8	89.5	93.6	△ 4.1
	成熟期	77.9	80.1	△ 2.2	76.7	82.2	△ 5.5	89.5	93.8	△ 4.3
本葉数(枚)	6月20日	0.9	0.9	0.0	0.8	0.9	Δ 0.1	0.7	0.9	△ 0.2
	7月20日	6.7	7.6	△ 0.9	7.1	7.8	△ 0.7	7.2	8.0	△ 0.8
	8月20日	12.7	12.3	0.4	14.0	13.5	0.5	15.4	15.2	0.2
主茎節数 (節)	9月20日	15.2	12.9	2.3	16.0	13.9	2.1	17.5	15.8	1.7
	成熟期	15.2	12.9	2.3	16.0	14.0	2.0	17.5	15.7	1.8
分枝数 (本/株)	7月20日	2.7	3.9	Δ 1.2	1.9	4.1	△ 2.2	2.6	4.2	△ 1.6
	8月20日	5.4	4.1	1.3	4.3	4.6	△ 0.3	5.2	5.1	0.1
	9月20日	4.2	3.5	0.7	4.3	4.1	0.2	5.2	5.0	0.2
	成熟期	4.2	3.5	0.7	4.3	4.0	0.3	5.2	5.0	0.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	58.1	67.6	△ 9.5	65.1	72.5	△ 7.4	54.9	70.9	△ 16.0
	9月20日	58.3	53.2	5.1	66.6	60.5	6.1	65.4	75.3	△ 9.9
	成熟期	58.3	53.2	5.1	66.6	60.3	6.3	65.4	74.4	△ 9.0
一莢内粒数(粒)		7.15	6.36	0.79	6.94	6.08	0.86	5.46	4.12	1.34
総重(kg/10a)		771	639	132	732	695	37	895	644	251
子実重(kg/10a)		463	387	76	452	371	81	447	380	67
百粒重(g)		15.3	15.7	△ 0.4	13.0	13.6	△ 0.6	18.6	17.2	1.4
屑粒率(%)		1.1	3.2	△ 2.1	0.9	5.6	△ 4.7	2.2	5.3	△ 3.1
品質(検査等級)		2中	3中	_	2中	3中	_	2中	4上	-
子実重対平年比(%)		120	100	20	122	100	22	118	100	18

- 備考 1) 平年値は、前7か年中、平成21年(豊作年)及び22年(凶作年)を除く5か年平均である。
 - 2) △は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
 - 3) 着莢数は,8月20日現在は莢長3cm以上,9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。
 - 4) 品質(検査等級)は旧農産物規格規定(一般小豆の規格その1(素俵))に準ずるものである。